

金沢市学童野球連盟理事長 吉田裕行様

未だ収束の見通しが見つからない新型コロナウイルス感染症により、多大なる影響を受けていらっしゃると思います。一方で、皆様のご尽力により金沢市学童野球リーグが開催され、少年たちを野球を通じて、明るく、正しく、たくましく健やかな成長へと導いていただいていることに心から感謝申し上げます。

さて、例年 11 月 23 日に開催している金沢市学童野球肘検診ですが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度は下記のごとく、規模を縮小し、人と人の間隔を 2 メートル以上開け、感染症予防を徹底したうえで開催することといたしました。

- 今年度の検診は小学 4 年生以上の捕手と投手のみを対象とします。
- すでにひじに痛みや曲がりにくい、伸ばしにくいなどの症状がある場合には、検診ではなく医療機関を受診してください。
- 保護者の付き添いは各チーム代表者 1 名のみとし、選手に異常があった場合には、説明を受け、選手の保護者への引継ぎを行ってください。
- 金沢市学童野球肘検診は、強制検診ではなく自由参加による検診活動です。検診を受けるか受けないかは各家庭で相談して決めてください。
- 検診日の朝に体温を計測し、37.5℃以上の場合には、野球肘検診に参加しないでください。また、検診施設入り口の検温で 37.5℃以上の場合には、野球肘検診を受けることはできません。
- 検診会場では、マスクを着用し、私語は慎んでください。
- 手指消毒用のアルコールを準備しておきますので、各自感染予防対策を徹底してください。
- 検診医も感染防御を徹底して検診活動を行います。ご協力のほどよろしく願います。

今後の新型コロナウイルス感染症の蔓延、拡大状況によっては今年度の金沢市学童野球肘検診を中止させていただく可能性もございます。あらかじめご了承ください。

金沢大学整形外科
土屋弘行 中瀬順介